



平成30年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月27日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 東  
 コード番号 7590 URL http://takasho.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高岡 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理本部副本部長 (氏名)井上 淳 (TEL) 073(482)4128  
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第3四半期の連結業績(平成29年1月21日～平成29年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第3四半期	13,701	2.4	579	1.7	519	715.0	238	—
29年1月期第3四半期	13,382	△5.5	569	△28.2	63	△91.5	△26	—

(注) 包括利益 30年1月期第3四半期 323百万円(—%) 29年1期第3四半期 △404百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第3四半期	19 43	— —
29年1月期第3四半期	△2 19	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第3四半期	18,661	7,570	40.1
29年1月期	17,470	7,321	41.4

(参考) 自己資本 30年1月期第3四半期 7,485百万円 29年1月期 7,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	— —	0 00	— —	6 00	6 00
30年1月期	— —	0 00	— —		
30年1月期(予想)				10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年1月期の連結業績予想(平成29年1月21日～平成30年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,010	4.6	582	15.7	527	63.5	270	77.5	21 99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年1月期3Q	12,379,814株	29年1月期	12,379,814株
② 期末自己株式数	101,362株	29年1月期	101,362株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	12,278,452株	29年1月期3Q	12,278,452株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定されており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善等により緩やかな回復基調が継続したものの、米新政権の政策や欧州における政治リスク、アジア諸国の経済動向等、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻くガーデニング業界におきましては、新設住宅着工数は前年よりも減少傾向となっており、震災復興や東京オリンピック開催の影響を受け、全国的に工事を行う作業員が不足していること等から依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中において、当社グループでは、庭は家での暮らしにおける5番目の部屋である「5th ROOM」(フイフスルーム)に基づき、庭からできる省エネ、節電、安全をテーマとした「SMART LIVING GARDEN」(スマートリビングガーデン)や家族が笑顔で健康になる庭をテーマとした「ガーデンセラピー」等、自然や季節を楽しむ心地良い庭での暮らしを目的とする新商品の拡充、ならびに4月1日には大阪ショールーム(大阪府箕面市)を新設し、さらに、今後のガーデン・ライフスタイルを提案する自社展示会TGEF2017(タカショーガーデン&エクステリアフェア2017)を開催する等、販売活動の強化を図りました。また、より快適な空間を演出する『GEMS®』(Garden Energy Management System)の第一弾として電気工事士資格がなくても施工ができるローボルトシステムに接続が可能なカメラ『LEDIUS Cam(レディアスカム)』を発売し、ガーデン・ライフスタイルにIoTテクノロジーを提案し、さまざまな視点から、ガーデンで過ごすライフスタイル、自然に寄り添う暮らし方などの情報を発信する専門のWebプラットフォーム『Garden Story』を10月2日に開設することでガーデン・エクステリア市場拡大の強化を図りました。

国内の売上高につきまして、ホームユース部門では為替リスクの低減を目的に、一部の海外生産品において三国間取引していたものを当事者会社間の直接取引に変更したことにより減少したものの、プロユース部門ではアルミ製人工木「エバーアートウッド」を用いたエクステリア商品等の販売が順調に推移いたしました。さらに、木、石、塗り壁、和風など様々な天然素材を再現したアルミ複合板「エバーアートボード」ならびに夜の庭を演出するローボルト(12ボルト・24ボルト)LEDライト等の照明機器の販売が順調に推移した結果、売上高は前年同四半期と比べて増加いたしました。

海外展開におきましては、商品の供給元を当社中国製造子会社に集約し原価コスト削減、生産性の向上を図るなか、販売子会社において大型ホームセンターとの新規口座開設や定番商品の投入、また為替リスクの低減を目的とした当事者会社間による直接取引への変更等の結果、売上高は前年同四半期と比べて増加いたしました。

また、当社のさらなる企業価値向上を目的に、平成29年10月19日に、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から、東京証券取引所市場第二部へ市場変更いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,701,283千円(前年同四半期比2.4%増)と増収となりました。利益面においては、販売費及び一般管理費が全体的にはほぼ前年並みに推移したものの販売力および製造量増加に向けた人材の採用による人件費が増加する中、原価率の低減により営業利益は579,542千円(前年同四半期比1.7%増)となりました。また、営業外費用において、為替の影響により為替差損を計上したものの前年同四半期よりは抑えられたことから、経常利益は519,473千円(前年同四半期比715.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は238,543千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失26,940千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は18,661,340千円(前連結会計年度末と比べ1,190,723千円増)となりました。

流動資産においては、売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が3,220,369千円(前連結会計年度末と比べ568,717千円増)、また自社生産品の販売への集約を進めるにおいて商品及び製品が3,606,308千円(前連結会計年度末と比べ252,677千円増)となりました。

固定資産においては、大阪ショールームの新設や中国製造子会社の工場を増築したことから建物及び構築物が3,199,608千円(前連結会計年度末と比べ94,081千円増)となったものの、無形固定資産の減価償却が進んだことから433,774千円(前連結会計年度末と比べ114,843千円減)、繰延税金資産が5,790千円(前連結会計年度末と比べ104,670千円減)となりました。

流動負債においては、売上高が順調に推移したことから仕入高が増加し支払手形及び買掛金が4,024,216千円(前連結会計年度末と比べ958,292千円増)となりました。

固定負債においては、借入金の返済が進んだことにより長期借入金が488,499千円(前連結会計年度末と比べ177,165

千円減)となりました。

純資産においては、利益剰余金の増加等により7,570,796千円(前連結会計年度末と比べ249,407千円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成29年3月3日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,149,869	2,535,652
受取手形及び売掛金	2,651,651	3,220,369
電子記録債権	691,301	622,737
商品及び製品	3,353,631	3,606,308
仕掛品	238,476	268,889
原材料及び貯蔵品	801,932	974,905
繰延税金資産	155,126	220,787
その他	1,145,163	904,722
貸倒引当金	△97,957	△99,496
流動資産合計	11,089,195	12,254,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,105,527	3,199,608
土地	973,182	973,182
建設仮勘定	122,065	83,833
その他(純額)	500,480	545,349
有形固定資産合計	4,701,255	4,801,974
無形固定資産		
のれん	43,337	10,919
その他	505,280	422,855
無形固定資産合計	548,618	433,774
投資その他の資産		
投資有価証券	163,901	196,732
繰延税金資産	110,461	5,790
その他	880,579	992,069
貸倒引当金	△23,394	△23,876
投資その他の資産合計	1,131,548	1,170,715
固定資産合計	6,381,421	6,406,464
資産合計	17,470,617	18,661,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,065,924	4,024,216
短期借入金	4,272,700	4,702,068
1年内返済予定の長期借入金	616,610	387,710
未払法人税等	214,741	98,615
賞与引当金	64,885	161,190
その他	1,019,083	914,509
流動負債合計	9,253,945	10,288,309
固定負債		
長期借入金	665,665	488,499
退職給付に係る負債	2,772	3,128
資産除去債務	148,451	165,356
その他	78,394	145,249
固定負債合計	895,283	802,234
負債合計	10,149,228	11,090,544
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,307,776	1,307,776
資本剰余金	1,348,930	1,348,930
利益剰余金	4,192,753	4,357,626
自己株式	△26,468	△26,468
株主資本合計	6,822,992	6,987,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,802	82,524
繰延ヘッジ損益	116,289	11,944
為替換算調整勘定	243,661	337,358
退職給付に係る調整累計額	△2,723	65,450
その他の包括利益累計額合計	417,029	497,277
非支配株主持分	81,366	85,653
純資産合計	7,321,388	7,570,796
負債純資産合計	17,470,617	18,661,340

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月21日 至平成28年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月21日 至平成29年10月20日)
売上高	13,382,933	13,701,283
売上原価	7,770,187	7,710,530
売上総利益	5,612,746	5,990,752
販売費及び一般管理費	5,043,000	5,411,210
営業利益	569,745	579,542
営業外収益		
受取利息	6,806	4,088
受取配当金	1,715	1,819
受取手数料	46,023	33,465
その他	31,003	21,193
営業外収益合計	85,548	60,567
営業外費用		
支払利息	39,348	37,502
売上割引	24,793	26,084
為替差損	504,318	41,955
コミットメントフィー	12,546	7,687
その他	10,551	7,405
営業外費用合計	591,558	120,635
経常利益	63,735	519,473
特別利益		
固定資産売却益	1,541	-
特別利益合計	1,541	-
特別損失		
固定資産売却損	69	1,223
固定資産除却損	270	1,066
減損損失	4,774	2,134
特別損失合計	5,114	4,425
税金等調整前四半期純利益	60,162	515,048
法人税、住民税及び事業税	250,618	222,547
法人税等調整額	△167,059	50,662
法人税等合計	83,558	273,210
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,395	241,838
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,544	3,294
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,940	238,543



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月21日 至平成28年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月21日 至平成29年10月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,395	241,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,944	22,721
繰延ヘッジ損益	20,776	△104,344
為替換算調整勘定	△394,799	94,688
退職給付に係る調整額	△33,396	68,174
その他の包括利益合計	△381,474	81,240
四半期包括利益	△404,870	323,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△393,605	318,792
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,265	4,286

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。